

きらり いわた 人

大学駅伝で日本一に挑む
早稲田大学2年 競走部

鈴木 創士選手



伝

統と仲間の思いが込められた臙脂の襷を背負い、新春の箱根路を駆け抜けた。4区20・9kmを走り区間3位。5人抜きの快走。その颯爽と走る姿の裏側には苦しい経験に向き合い、勝利への執念と厳しい練習の積み重ねがあった。現状に満足せず歩を進めるその先に、「日本一」という頂を見据えている。

陸上競技を始めたきっかけは？

小学校の持久走大会でどうしても勝てない子がいて、「勝ちたい」と思い父親と練習を始めたことです。だけど、結局、その子には勝てなかったです。中学校に進学して、好きなサッカーやゴルフをやりたいと考えていましたが、先輩から誘われて陸上部に入部しました。高校では駅伝の全国大会に出場し、チーム一丸で勝利を目指す駅伝の魅力を感じました。

早稲田大学に進学した理由は？

学生寮の環境や相楽駅伝監督の人柄を知り、ここなら人間として成長できると思ったからです。学生寮の食事はとてもおいしく、競技に専念できます。

どのくらい練習をしていますか？

週6日練習しています。8月の夏合宿では1日40km以上走り込みます。新型コロナウイルス感染症の影響で部として活動ができず、1人で練習していた期間がありました。長所や課題を分析して、筋力トレーニングなどの基礎練習に取り組みました。

昨年は苦しんだ1年とのことですが？

練習の手応えが成果に結びつかず、精神的に疲弊した部分が大きいです。昨年の箱根駅伝で、7区の区間2位になり、今年の大会は区間賞を獲得することが現実的な目標になりました。けがもありましたが、夏合宿までは順調に練習ができていました。しかし、合宿明けの記録会に臨むと、思った通りの結果が出ずとても悩みましたね。どん底の状態から練習内容を見直し、相楽駅伝監督をはじめ多くの方の助言や支えで、なんとか自分の走りを取り戻せました。

これからの目標は？

陸上競技を始めてから一度も「日本一」の経験がないので、とにかく「日本一」になりたいです。箱根駅伝だけではなく、個人では「区間賞・区間新記録」、競走部としては「チーム優勝」を目指しています。

磐田市の皆さんに一言お願いします

いつも地元の方の皆さんの声がとてもうれしいです。遠く離れていても故郷の温かい気持ちが伝わってきます。皆さんの応援のおかげで苦しいときも頑張れます。これからも応援をよろしくお願いします。

Profile

2001年生まれ。磐田市福田出身。遠征にはマイバスタオルを必ず持って行く。心配性で遠征の荷物が多くなりがち。